新型コロナウイルスQ&A

市内での新型コロナウイルス感染者が確認され、市民の皆様はこれまでよりも普段の生活に不安を抱えていることと思います。ここでは、新型コロナ対応についての疑問や不安をQ＆A形式で紹介します。

Q コロナについての問い合わせや、発熱等の症状がある場合の連絡先は？

A 内容に応じて、以下の４つの窓口があります。

症状はないが新型コロナについて相談したい

1. **コロナ相談かごしま**
   ☎ 099-833-3221
   ※ 24 時間対応
   ※多言語対応

発熱などの症状がある場合

- かかりつけ医がいる
  2. **かかりつけ医**
     ご自身のかかりつけ医にご連絡ください。
- かかりつけ医が休み又は医療機関が分からない
  - 平日 8：30 ～ 17：15
    3. **受診・相談センター**
       ☎ 0994-52-2106
       ※鹿屋保健所内に設置
       ※緊急時は時間外も可
  - 平日 17：15 以降
    休日・祝日
    4. **池田温泉クリニック**
       ☎ 0994-32-6161
       ※ 24 時間対応
       ※電話相談医療機関

Q 知人が感染し、以前会話をしました。また、感染者がいた施設等に訪問したことがあり、不安です。私は濃厚接触者でしょうか？

A 濃厚接触者の方には保健所から連絡があります。

濃厚接触者とは、感染者と近距離で接触、あるいは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方で、保健所が判断した方となります。濃厚接触者の方には保健所から連絡がありますので、保健所の指示に従った行動をお願いします。濃厚接触者でない場合は、過度に心配されることなく、これまでどおりの感染予防に努めてください。発熱などの症状がある場合は、かかりつけ医または、受診・相談センターへご連絡ください。

Q PCR 検査を受けるには、どうすればいいですか？

A「行政検査」と「自費検査」があります。

検査には、発熱等の症状がある方や濃厚接触者を対象に、保健所や医療機関の判断を踏まえた「行政検査」と、仕事等で、無症状であっても検査費を自己負担することで、医療機関で検査を受けられる「自費検査」があります。検査を希望される方は、市外の医療機関で検査を受けられる場合があります。（市内医療機関では実施しておりません）詳しい情報は、垂水市公式 HP からご確認できます。

▲自費検査

国の交付金等を活用した

予防対策

を紹介します

6 医療施設等従事者を応援

感染症対策に従事される医療・介護・福祉職の方々の、明日への活力としてもらうために、感謝を込めて、市特産品を贈りました。

■市内 873 人の従事者の方々に、「海の桜勘（カンパチ）」と「ぶり大将」にメッセージカードを添えて贈られました。

1 全市民へのマスク配布

4 月～ 6 月にかけて全市民に対してマスク配布を実施。高校生以上の各世帯配布時には、職員が一丸となって封入作業を行いました。

■乳幼児～小学生
地元企業の布製マスク

■高校生以上（各世帯に配布）
1 人 10 枚の不織布マスク

■保健・福祉関係事務所等
50 か所へ配布

7 小中学校予防対策

感染予防対策として、市内小中学校の教室・体育館の換気用備品及び非接触型センサー付き水道蛇口等を整備しました。

■教室換気用サーキュレーター・空気清浄機、体育館換気用大型送風機、学校机飛沫防止ガード等

4 予防接種補助（10月～１月）

インフルエンザか新型コロナかの診断は困難であるため、補助によりインフルエンザ予防接種の受診を促進し、発症者の減少を図りました。

■中学生以下：補助上限 3,000 円
■高校生以上：補助上限 2,000 円
■発症者前年比：0.14%（同時期比較）

2 各所へ予防対策備品整備

4 月～ 12 月にかけて、市内小中学校、社会教育施設、体育施設等へ予防対策備品を配置し、感染予防を強化しました。

■手指消毒用アルコール、次亜塩素酸ナトリウム、非接触型体温計、不織布マスク、図書消毒機、サーマルカメラ等

8 介護事業所等へ物品整備

１月～２月頃に市内介護事業所等へウイルス対策防護用品一式を配布し、利用者・職員の感染対策、介護サービスの提供体制維持を図ります。

■長袖ガウン、フェイスシールド、N95 マスク、手袋、シューズカバーキャップのセット（写真はイメージです）

5 PCR 検査体制整備（10 月）

陽性患者の隔離を速やかに行うため、市内での検査体制を整備し、市外機関での検査に比べ、結果判明までの時間が大幅に短縮されました。

■検査装置（GeneXpert システム GX- Ⅳ）一度に 4 検体の検査が可能で、検査結果は、検査開始から約 45 分で判明。

3 避難所の対策備品整備

避難所における感染等を防ぐために、出水期に防災備品を整備しました。台風 10 号時には、ワンタッチパーテーション等を有効活用しました。

■ワンタッチパーテーション、大型扇風機、段ボールベッド、段ボールパーテーション、床マット等